

主題名

イメージは、本当か？

教材名

半分の写真から (参考資料:「わたし 出会い 発見 Part2」)

人権学習の視点

普遍的な視点「差別の構造」





主題・教材について

高学年になると、社会的なことへの興味関心が広がり、経験も増え、さまざまな見方や考え方を身に付ける。その中で、知らず知らずの間に一部の情報をとらえて、間違っただイメージを持ってしまふこともある。様々な写真から受けるイメージを通して、自分の中の思いこみ・固定観念があることに気付くことで、一部の情報によるイメージに縛られず、きちんと判断していかうとする態度を育てたい。

ねらい

自分の持っているイメージが事実とは違うことがあることを実感させ、「イメージ」や「思いこみ」だけで判断せず、正しく事実を見ていかうとする態度を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○資料8ページの写真を見て、分かることやイメージを発表させる。	個別 一斉	○分かることやイメージを、ワークシートに書き発表する。 ●年齢・性別 ●何をしているか ●どんなところか ●残り半分はどんな写真か	○情報から、人は様々なイメージを持つことに気付かせる。	資料 「半分の写真から」 ワークシート 問1 
	○写真全体を見て、事実とイメージの違いに気付かせる。		○事実とイメージの違いを体験する。	○「思いこみ」や「決めつけ」があることに気付かせる。	
展開	<b>「写真合わせゲーム」をしよう</b>				
	○ゲームの進め方を説明する。	一斉	○ゲームの進め方を知る。 ●半分の写真を見て分かることやイメージをワークシートに書く。 ●残りの半分の写真を予想してワークシートに書く。 ●グループで予想した意見を出し合う。 ●残り半分の写真を見て、それぞれの見方について話し合う。	○できるだけ詳しく書けるようにする。	写真(封筒) ワークシート 問2
	○グループ毎に、ゲームを始めさせる。	個別 グループ	○グループ毎にゲームを始める。	○残りの半分の写真は、封筒に入れ見せないようにする。 ○自分のイメージを、自由に出し合えるようにする。 ○ゲームがスムーズに進むように机間指導をする。	
<b>写真の完成! 予想と比べてどうだったかな?</b>					
まとめ	○各グループの写真を見せ、最初のイメージや予想との違いを発表させる。	一斉	○ゲームの中で、気付いたことや感じたことを発表する。	○できるだけ、イメージとの違いを多く出させる。	
	○イメージや思いこみだけで判断するのではなく事実を見て、判断していく大切さに気付かせる。	一斉	○自分の中にあるイメージや思いこみに気付く、事実から正しく判断する大切さを知る。	○児童の発表中の意見から、イメージの違いで、判断できなかった例を取り上げまとめにしてもよい。	

評価

「イメージ」や「思いこみ」だけで判断するのではなく、正しく事実を見ていかうとする態度を養うことができたか。